



日動勞千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.12.20 No. 4520

第11回動勞総連合定期大会 (12月14~15日)

JR体制打倒へ新執行体制確立!

動勞千葉・中野委員長が 総連合委員長に就任

二月一日(四)〜二日(五)の両日、千葉市・「なのはな荘」において、第十一回動勞総連合定期大会が開催され、分割・民営化一〇年目という節目の闘いの総括を行なうとともに、分割・民営化の矛盾が大きく吹き出す九七年へ向けた闘う方針を確立するとともに、今定期大会で退任した水野委員長の後任として、中野委員長が就任し、闘う新たな体制が構築された。

「歴史をつづつた一〇年間、十二分に評価しよう。水野委員長様御冥途まで。」

大会は、「動勞総連合一〇周年の大会の場で、闘う決意を改

めて打ち固めよう」という平岡副委員長(西日本)の開会のあいさつで始められ、議長に吉野代議員(千葉・総武)を選出して議事が進められた。

冒頭、水野委員長は、「八九一年一・五ストで職場からの反撃を開始してきたが、今定期大会で初心にかえり、闘いの出発点にしていきたい。あらゆる不当な差別・選別を受けながらも意地を貫いて一〇年間闘ってきた中で歴史を作ってきた。この闘いを十二分に評価し、動勞総連合の闘いをさらに大きくしていこう」と訴えた。

また、今年一月でJRを退職した初代委員長の井面義信さん(西日本)からも「日本労働運動の最先頭で闘ってきたことを誇りに思う」とあいさつが行なわれ、動勞総連合加盟時の思い出なども含めて感慨深く語られた。

活発な論議をうけ、満場一致でスト権を確立

その後、議事は、経過報告、労働協約・協定締結報告、会計報告、九六年度運動方針案、予算案が一括して提起され、質疑に入った。

質疑では、両日にわたって活発な意見が交わされ、JR東労組内での不満の噴出、職制の運

行管理能力欠如の問題(水戸)、高崎車掌区での三名のJR東労組脱退問題の報告、支社内での事故多発問題(高崎)、被災地労働者への支援・共闘の報告、動勞千葉物販取り組みの報告(西日本)、安全運転闘争の報告、貨物基地統廃合問題、駅無人化による運転士等への負担の問題、沖繩基地撤去の問題を労働者の問題として捉える必要性(千葉)などが出され、一括して採択された後、満場一致でスト権が批准された。

九六年度新役員選出では、水野委員長の退任をうけて、新に動勞千葉・中野委員長が動勞総連合の新委員長として就任した。

◆動勞総連合九六年度役員体制◆

役職	氏名	年令	出身
中央執行委員長	中野 洋	五六	千葉
副 "	平岡 誠	四八	西京
"	国分勝之	三五	水戸
書記長	布施宇一	五四	千葉
中央執行委員	和田山繁	四六	高崎
"	小川正哉	四〇	西京
"	石井真一	三六	水戸
"	田中康宏	四〇	千葉
"	川崎昌浩	三八	千葉
会計監査	岡田宏宣	四二	高崎
"	高石正博	五〇	千葉
"	外岡 弘	三五	水戸

(役員別表)、地殻変動を始めた「JR体制」粉碎へ新たな執行体制が確立された。

その後、大会宣言が高らかに発表され、組合歌合唱、中野新委員長の力強い団結ガンパロー三唱で第十一回動勞総連合定期大会は成功裡に終了した。

水野さん、山口さん井面さんに感謝状

また、これまで動勞総連合の発展に尽力し、今定期大会で退任することになった水野さん、山口さん、そして井面さんの三名に対して、中野委員長より感謝状と記念品が贈呈され、記念の一〇周年大会となった。



写真右 動勞総連合初代委員長の井面さんへの感謝状の贈呈。写真左 退任に際し、長年ご苦勞様でした。